

「聴音」と「新曲視唱」認定試験の実施にともない、募集要項が更新されました
(2023 月 7 月 5 日)

- p. 3 選考方法
- p. 5 出願書類一覧
- p. 9～16 弦・管・打楽器の専攻別課題

2024 年度

入学試験募集要項

総合型選抜

東京音楽大学

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

- 大学において専門的に音楽を学ぶにあたり、楽譜を読む力、音を聴く力、表現の基礎となるテクニック、様式を捉える力、楽典の知識が、一定のレベルに達していることが重要です。
- 音楽の学習には外国語も必要です。
- 専攻によっては、ピアノ演奏や新曲視唱、新曲視奏の基礎的な能力も必要です。

専攻のアドミッション・ポリシーは次の通りです。

声乐専攻

●声乐芸術

音楽～歌～を愛し、演奏家、教育者などを目指して学ぶための資質を有し、熱意を持って努力し続けることのできる人材を求めます。また国際的にも活躍できる実力を持った音楽家の育成を目指すという観点から、その学習のためのより高い資質、より強い意欲が必要です。

声を楽器として創り上げるために、基礎的な歌唱力、語学力が必要です。また、周囲との協調性や社会性も身に付け、豊かな人間性を育むために、広い視野を持って学ぶ姿勢が望まれます。

器楽専攻

●ピアノ

ピアノ音楽の学習を通して豊かな人間性、社会性を育むために、ピアノに限定することなく音楽に関して幅広く関心を持ち、外国語を始めとする教養科目にも勉学意欲のある人材を求めます。ピアノ演奏の系統的な学習を円滑に行うために、基礎的なピアノ演奏技術と演奏スタイルを習得している必要があります。

●ピアノ演奏家コース

プロフェッショナルな音楽家として社会で活動できるよう、ピアノに限定することなく音楽に関して幅広い体験を積み、国内外を問わず活動の場を拡げていく意欲のある人材を求めます。器楽専攻ピアノよりも高度なピアノ演奏能力を目指すために、一定水準以上のピアノ演奏技術と演奏スタイルを習得している必要があります。

●弦楽器

弦楽器独特の美しく豊かな響きを追求し、様々な音楽分野での活躍を希望する人を求めます。各楽器において、基礎的な演奏技術と表現力を有している必要があります。

●管・打楽器

管楽器と打楽器において、高度な技術と豊かな表現力の獲得を目指し、様々な音楽分野での活躍を希望する人を求めます。各楽器において、基礎的な演奏技術と表現力を有している必要があります。

作曲指揮専攻

●作曲「芸術音楽コース」

様々な芸術に対して興味を持ち、将来的に個性ある発信ができる人材を求めます。和声学の知識、及び楽曲制作のための技術と様式感を備えている必要があります。

音楽文化教育専攻

音楽文化に関心を持ち、その研究と実践を通して社会に貢献しようとする以下のような学生を受け入れます。

- 1 多様な音楽文化への幅広い関心を持ち、実践活動に参加してきた者。
- 2 将来の音楽教育者及び音楽文化の実践者の基礎となる音楽知識や技術を、高等学校までの音楽の授業及び課外活動を通して身につけた者。
- 3 論理的な思考ができ、自分の考えを文章や口頭で表現できる者。

吹奏楽アカデミー専攻

吹奏楽を愛し、より深い知識習得の意欲があり、熱意を持って向き合い、他者との関わりを大事にし、社会へ発信していこうという意欲のある人材を求めます。何らかの吹奏楽で用いられる楽器の基礎的な演奏技術を習得している必要があります。

ミュージックビジネス・テクノロジー専攻

以下のような意欲のある人材を求めます。

- 音楽とコンピューターが好きで好奇心にあふれる者。
- 音楽とICTを武器に広くビジネス界で貢献したい者。

1. 募集学部・学科（専攻）および募集人員

東京音楽大学 音楽学部 音楽学科			
専攻	区分	楽器・コース等	募集人員 (全ての総合型選抜合わせて)
声 楽	声楽芸術		90 名
器 楽	鍵盤楽器	ピアノ、ピアノ演奏家コース	
	弦 楽 器	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター	
	管 楽 器	フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、バス・トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム	
	打 楽 器	ティンパニ、小太鼓、マリンバ	
作曲指揮	作 曲	「芸術音楽コース」	
音楽文化教育			
吹奏楽アカデミー			
ミュージックビジネス・テクノロジー			

※ミュージック・リベラルアーツ専攻においても、声楽、器楽、作曲指揮各専攻の実技等を選択できます。ミュージック・リベラルアーツ専攻総合型選抜受験希望者は、「総合型選抜 ミュージック・リベラルアーツ専攻（外国人留学生を含む）[春学期入学者・秋学期入学者]」の募集要項をご確認ください。

2. 出願資格

次の1.～3.の条件のいずれかに該当し、かつ4.～5.に該当する者としします。

1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者および 2024 年 3 月卒業見込みの者
2. 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および 2024 年 3 月修了見込みの者
3. 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および 2024 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および 2024 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - (2) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および 2024 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - (3) 文部科学大臣の指定した者
 - (4) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）および 2024 年 3 月 31 日までに合格見込みの者
4. 学業、人物ともに優れ、本学への入学を専願とする者
5. 音楽に対し深い愛情を持つとともに卓越した音楽性や技術を有し、音楽文化に貢献していく強い意志を持つ者

※上記に加え、声楽、器楽、作曲指揮、音楽文化教育、吹奏楽アカデミー専攻で受験する場合は、以下6.に該当していること。

6. 「楽典」「新曲視唱」「聴音」の音楽基礎能力を有する者

※複数の専攻を併願することはできません。

※音楽文化教育専攻に出願する者は、本学音楽文化教育専攻学校推薦型選抜(公募制)には出願できません。

※「外国籍を有し、外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者(2024 年 3 月修了見込み者含む)又はこれに準ずる者で、日本国文部科学大臣の指定した者」は、外国人留学生選抜を受験すること(ただし、在留資格「永住者」を除く。また、外国人留学生選抜では吹奏楽アカデミー専攻の入学試験は実施しません)。

3. 選考方法

詳細は7ページ以降の「課題」を参照してください。

【「東京音楽大学 認定試験(楽典・聴音・新曲視唱)」の実施について】

東京音楽大学 夏期受験講習会を「全受講」、「基礎クラス」で受講する者は、無料で「東京音楽大学 認定試験(楽典・聴音・新曲視唱)」を受験することができます。試験で認定された者は、2024 年度入学試験における当該試験科目が免除となります。
詳細は、受験講習会要項をご確認ください。

【非対面式入学試験の実施について】

ピアノ、ピアノ演奏家コース志願者は「対面式」と「非対面式(実技の動画審査およびオンライン面接)」から選択することが可能です。
非対面式を選択する場合、パソコン・スマートフォン・タブレットいずれかの機器が必要です。
※パソコンの場合は、カメラ・マイク・スピーカーが内蔵または付属されている機種を使用してください。
※イヤホンまたはヘッドフォンを用意してください。

4. 入学検定料

専攻	区分	楽器・コース等	検定料
声 楽	声楽芸術		28,000 円
器 楽	鍵盤楽器	ピアノ、ピアノ演奏家コース	
	弦 楽 器	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター	
	管 楽 器	フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、バス・トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム	
	打 楽 器	ティンパニ、小太鼓、マリンバ	
作曲指揮	作 曲	「芸術音楽コース」	10,000 円
音楽文化教育			
吹奏楽アカデミー			
ミュージックビジネス・テクノロジー			10,000 円

出願期間内に Web 出願サイトから決済手続きをしてください。お支払い完了後に決済完了メールが送信されます。

5. 日程一覧

実施専攻	ミュージックビジネス・テクノロジー(日程①)	声楽専攻、器楽専攻、作曲指揮専攻、音楽文化教育専攻、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻(日程②)	吹奏楽アカデミー専攻
出 願 期 間	2023 年 9 月 4 日(月)～11 日(月) 消印有効	2023 年 9 月 26 日(火)～10 月 3 日(火) 消印有効	
試 験 期 間	9 月 23 日(土)	2023 年 10 月 27 日(金)～10 月 29 日(日)	2023 年 11 月 26 日(日)
合 格 発 表	2023 年 11 月 1 日(水)15:00～ 11 月 3 日(金)17:00	2023 年 11 月 10 日(金)15:00～ 11 月 13 日(月)17:00	2023 年 12 月 12 日(火) 15:00～ 12 月 14 日(木) 17:00
入学手続期間	2023 年 11 月 2 日(木)～11 月 9 日(木) 消印有効	2023 年 11 月 13 日(月)～11 月 20 日(月) 消印有効	2023 年 12 月 13 日(水)～12 月 20 日(水) 消印有効

- 10 月の総合型選抜では、1 日目に楽典、聴音、新曲視唱、2～3 日目に専攻の試験を実施予定です。
- 試験会場・日程の詳細は、試験初日の 3 日前までに、メール等でお知らせします。
試験日時・会場に関する電話やメールでのお問合せはご遠慮ください。
- 合格は大学ホームページにて発表します。電話等による問い合わせには応じません。

6. 出願手続

(1) 出願の流れ

出願方法は Web 出願のみとなります。本学ホームページの「入試案内(学部)」にある「出願ガイド」内の「出願情報の登録」より、下記の手順に沿って出願を行ってください。

※出願書類の郵送を終えて出願完了となります。

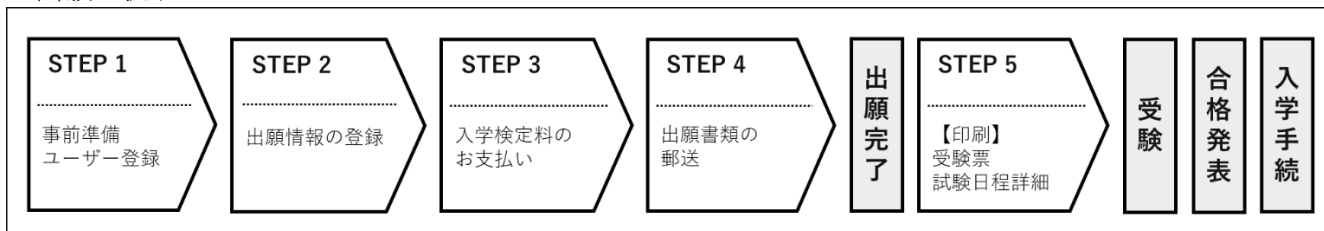
＜「出願ガイド」、「出願書類ダウンロード」など Web 出願に必要なページの掲載場所＞

出願ガイド

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/>



<出願の流れ>



STEP 1

① Web 出願にあたっての事前準備（詳しくは「出願ガイド」をご覧ください）

- ☐ インターネットに接続しているパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかの機器
- ☐ メールアドレス

各キャリアのメールアドレスを使用する場合は、ドメイン「@grapecity.com」「@sbpayment.jp」「@contact.grapecity.com」「@tokyo-ondai.ac.jp」からのメール受信ができるように設定を行ってください。
入学試験用に新たに作成される場合はフリーアドレス(@yahoo.co.jp や@gmail.com 等)の取得を推奨します。

- ☐ プリンター*
 - ☐ PDF 表示・印刷ソフトウェア
 - ☐ 本人写真(カラー写真データ)
- * 自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を使用してください。

② 「出願ガイド」からユーザー登録を行う

同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」からユーザー登録を行ってください。

※今年度本学受験講習会等で登録をしている方は再登録不要です。

※昨年度以前、メールアドレス登録画面で「□来年度もこのメールアドレスを利用する」にチェックを入れた場合は再登録不要です。

(「出願ガイド」:<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/>)

③ 出願書類を確認・準備する

募集要項に記載されている必要な書類を確認・準備してください。

STEP 2

「出願ガイド」から出願登録を行う

募集要項、「出願ガイド」を確認した上で、同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」から出願登録を行ってください。

STEP 3

入学検定料のお支払い

「コンビニエンスストア」、「クレジットカード」、「Pay-easy」で期限までに検定料をお支払いください。

※検定料のほかに支払手数料が必要です。

STEP 4

出願書類の印刷・記入および出願書類郵送

① Web 出願サイトから志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずに A4 サイズで印刷してください。

② 本学ホームページ「入試案内(学部)」から「出願書類ダウンロード」を選択し、受験する入学試験の必要書類を印刷・記入してください。「出願書類チェックリスト」を使用して、出願書類が全て揃っているか確認し、他の書類と一緒に提出してください。

(「出願書類ダウンロード」:<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam>)

③ レターパックライトを使用して、表面に宛名ラベルを貼り、出願書類を郵送してください。

※レターパックはポスト投函できますが、出願期限最終日に郵送する場合は、郵便局の窓口に出すことをお勧めします。

郵送をもって出願完了となります。

STEP 5

受験票の印刷

出願書類の確認後、東京音楽大学から「受験票印刷のお知らせメール」が届きます。

受験票の記載事項が志願票に入力した内容と一致しているか確認してください。

メールの案内に従って「受験票」を印刷し、受験票は試験会場に持参してください。

また、試験当日のスケジュールについてお知らせを送信します。内容をご確認のうえ、受験するようにしてください。

(2)出願書類一覧

以下の該当する書類を一括して、宛名ラベルを貼付けの上、「レターパックライト」で郵送してください。なお、以下の書類は「A.Web 出願サイト」または「B.出願書類ダウンロード」よりダウンロードし印刷してください。

(「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス)

A. Web 出願サイト(ユーザー登録・出願情報の登録、志願票・宛名ラベル印刷)

<https://lsg.grapecity.com/tokyo-ondai/App/Account/login>



B. 出願書類ダウンロード

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam>



出 願 書 類			注 意 事 項
1	志願票	上記AのURLから印刷してください。	検定料支払い手続き完了後印刷してください。 (拡大・縮小せずA4で印刷) ※カラー印刷してください。
2	宛名ラベル (レターパック仕様)		書類を郵送する際にレターパックに貼り付けて使用してください。 (拡大・縮小せずA4で印刷) ※カラー印刷してください。
3	曲目記入票	上記BのURLから総合型選抜の様式を印刷してください。	志望する専攻の様式より、該当するものを提出してください。 【対象専攻】声楽専攻(声楽芸術)、器楽専攻(鍵盤楽器、弦楽器、ファゴット、サクソフーン、トランペット、マリンバ)、音楽文化教育専攻、吹奏楽アカデミー専攻 ※器楽専攻(ピアノ)、器楽専攻(ピアノ演奏家コース)志願者は「対面式」「非対面式」の様式より該当するものを提出してください。
4	志望理由および音楽学習歴		【対象専攻】器楽専攻(鍵盤楽器、弦楽器、管楽器、打楽器)、作曲指揮専攻(作曲「芸術音楽コース」)、音楽文化教育専攻、吹奏楽アカデミー専攻
5	志望理由書		【対象専攻】声楽専攻(声楽芸術)、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻
6	指導者の所見		指導者が作成し、厳封したもの 《開封無効》
7	推薦書		推薦者が作成し、厳封したもの 《開封無効》 【対象専攻】音楽文化教育専攻
8	同意書		【対象者】器楽専攻(ピアノ)、器楽専攻(ピアノ演奏家コース)の「非対面式」志願者
9	出願書類チェックリスト		出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、出願書類と共に提出してください。
10	演奏実技動画		器楽専攻(ピアノ)、器楽専攻(ピアノ演奏家コース)の「非対面式」志願者のみ提出してください。 動画提出期間および提出方法詳細は、ホームページ「入試案内(学部)」の「演奏実技動画の撮影および提出方法について」を参照してください。
11	伴奏譜		声楽専攻(声楽芸術)、器楽専攻(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)、音楽文化教育専攻(声楽)の志願者は伴奏譜を出願書類に同封してください。伴奏譜の作成方法は23ページ「伴奏譜の提出について」を参照してください。
12	作品		【対象専攻】作曲指揮専攻(作曲「芸術音楽コース」) (17ページ参照)
13	調査書		出身高等学校長が作成し、厳封したもの 《開封無効》
14	認定試験(楽典・聴音・新曲視唱)認定証のコピー		今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験(楽典)で認定された者は、本学発行の認定証のコピーを提出してください。 【対象専攻】声楽専攻(声楽芸術)、器楽専攻(弦楽器、管楽器、打楽器)、作曲指揮専攻(作曲「芸術音楽コース」)

(3) 提出先

〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1 東京音楽大学入試課 電話 03-6455-2754(直通)

7. 試験会場

・東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス(東京都目黒区上目黒 1-9-1)

・東京音楽大学 池袋キャンパス(東京都豊島区南池袋 3-4-5)

※試験会場・日程の詳細はメールにて通知する案内を参照してください。

<アクセス>



学校保健法で出席の停止が求められている感染症に関する注意事項について

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ・はしか等)にかかり治癒していない場合、その感染症が他の受験者や試験監督者等に拡がるおそれがありますので、入学試験を受験することはできません。また、試験当日の検温により発熱があった場合や、通常とは異なる体調不良があり感染症に罹患している可能性がある場合も、受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと判断した場合は、この限りではありません。

上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として、追試験等の特別措置および入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調には十分に注意してください。

尚、感染状況等により事情が変わった場合には、改めてホームページ等でお知らせします。

8. 入学手続

(1) 入学手続書類送付および学費等の納入

合格者には、合格発表後速やかに願書記入の現住所に入学手続書類を郵送しますので、同封の案内に従って手続きをしてください。期間内に手続きを完了しない場合は、合格を取り消します。

※入学手続書類の提出は郵送(簡易書留)のみとします(期間最終日の消印有効)。

(2) 入学手続書類

①誓約書 ②その他本学が指定したもの

(3) 提出先

〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1 東京音楽大学入試課

(4) 学費その他の納入金

本学の学費については、以下のリンクをご覧ください。

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/about/expenses>



「教育充実協力金」について

本学では、教育施設および設備の一層の整備充実のため、入学生保護者の皆様に寄付をお願いしております。ご寄付は原則として任意でございますが、一口 10 万円で一口以上のご協力をよろしくお願いいたします。なお、協力金に関する資料は入学許可後にお渡しいたします。

課題

声楽専攻

声楽芸術

1. 楽典 (50 分)

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

2. コールユーブンゲン

原書番号 Nos.48～51、56～59の中から当日指定する(『全訳コールユーブンゲン』大阪開成館)。

移動ド唱法または固定ド唱法のいずれでも可。

試験室においてピアノによりカデンツァおよび開始音が与えられる。

3. 専攻実技

下記の専攻実技の課題を演奏すること。

4. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えてください。

専攻実技課題

(1) 課題曲：次の課題曲表から1曲を選ぶこと。

※ 歌詞は原語で、暗譜で歌うこと。

※ 演奏の途中で打ち切る場合がある。

※ () 内のアルファベットは調性を表す。これら以外の調で歌う場合は移調譜を出願書類と共に提出すること。

No.	曲 名	作曲者
①	Già il sole dal Gange (B, As, G)	A. Scarlatti
②	Se tu della mia morte (g, f, e)	A. Scarlatti
③	Sento nel core (g, f, es)	A. Scarlatti
④	Lasciar d'amarti (g, f, d)	F. Gasparini
⑤	Star vicino (A, B, G)	L. Mancina (伝 S.Rosa)
⑥	Sebben, crudele (e, d, c)	A. Caldara
⑦	Vergin, tutto amor (d, c, h)	F. Durante
⑧	Nina (g, fis, e, d)	作曲者不詳
⑨	Nel cor più non mi sento (F, G)	G. Paisiello
⑩	Sogno (B, As, Ges)	F. Tosti
⑪	An Chloe (Es, C)	W. A. Mozart
⑫	Ich liebe dich (G, F)	L. v. Beethoven
⑬	An die Musik (D, C, B)	F. Schubert
⑭	Geheimes (As, F, Es, D)	F. Schubert
⑮	Lachen und Weinen (As, F, E)	F. Schubert
⑯	Die Lotosblume (F, Es, Des)	R. Schumann
⑰	Widmung (As, Ges, F)	R. Schumann
⑱	Dein blaues Auge (Es, D)	J. Brahms
⑲	Sonntag (G, F, Es)	J. Brahms
⑳	Zueignung (C, A, G)	R. Strauss
㉑	秋の月 [山田耕筰 編曲] (h)	滝 廉太郎
㉒	荒城の月 [山田耕筰 編曲](1,2 番) (d, c)	滝 廉太郎
㉓	母 (As, G, F)	小松 耕輔
㉔	この道(1, 2 番) (E, D)	山田 耕筰
㉕	北秋の『沙羅』より (D, Des)	信時 潔
㉖	行々子 『沙羅』より (Fis, F)	信時 潔
㉗	浜千鳥 (Es, C)	弘田 龍太郎
㉘	浜辺の歌 (1,2 番) (As, F)	成田 為三
㉙	ゆりかご (E, D)	平井 康三郎
㉚	むこうむこう (F)	中田 喜直

(2) 自由曲：1 曲 (4 分以内)。ただし、(1) の課題曲表以外の曲目とする

※日本歌曲、ミュージカルナンバー可*。オペラ・アリアは原調で歌うこと。

※伴奏者は大学が用意する。

※伴奏譜を出願書類と共に提出のこと(前奏、間奏、後奏のカット可。その他の部分のカットが記載されている場合は、本学で確認し、内容によっては訂正を求めることがある)。

*ミュージカルナンバーについて

・訳詞による歌唱可。言語は限定しない。マイクの使用不可。

・伴奏譜は出版譜に限る。

1. 専攻実技

下記の楽器別実技課題から、専攻楽器の課題を演奏すること。

2. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えてください。

器楽専攻(ピアノ、ピアノ演奏家コース)受験者で「非対面式」で受験する場合の面接は Zoom で行います。

詳細は出願締め切り後に個別に連絡します。

専攻実技課題**■ピアノ**

※すべて暗譜で演奏すること。

※次の a 課題または b 課題を選択すること。

a 課題

(1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲(プレリュードとフーガ)

※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。

(2) 次の(イ)～(ホ)の練習曲集より任意の 1 曲

(イ) モシュコフスキー Op.72

(ロ) クレメンティ (タウジヒ編による 29 の練習曲より選択のこと)

(ハ) チェルニー Op.740 (50 番練習曲)

(ニ) モシェレス

(ホ) ショパン Op.10, Op.25 (Op.10 No.6, Op.25 No.7 を除く)

(3) 自由曲 (5分以上8分程度。複数曲可。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

b 課題

自由曲(12 分以上 17 分程度。1 曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

■ピアノ演奏家コース

※すべて暗譜で演奏すること。

※次の a 課題または b 課題を選択すること。

a 課題

(1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲(プレリュードとフーガ)

※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。

(2) ショパン『練習曲集』Op.10, Op.25 より任意の 2 曲 (Op.10 No.6, Op.25 No.7 を除く)

(3) 次の①または②を選択すること。

①(イ)～(ト)の練習曲集より任意の 1 曲

(イ) リスト

(ロ) ドビュッシー

(ハ) スクリャービン Op.8, Op.42, Op.65

(ニ) ラフマニノフ Op.33, Op.39

(ホ) プロコフィエフ Op.2

(ヘ) バルトーク Op.18

(ト) リゲティ

②ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタの中から、任意の楽章を 1 つ

(4) 自由曲 (12 分以上 15 分程度。複数曲を演奏する場合は、楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

b 課題

自由曲 (25 分以上 30 分程度。1 曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

* 器楽専攻(ピアノ演奏家コース)の受験結果により、器楽専攻(ピアノ)に合格となる場合があります。

* 総合型選抜で器楽専攻(ピアノ)に合格した者は、所定の試験を受験し合格することにより、「器楽専攻(ピアノ演奏家コース)」に転コースすることができます(詳細は、後述の「器楽専攻(ピアノ演奏家コース)への転コースについて」を参照)。

1. 楽典 (50 分)

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

2. 新曲視唱 8 小節程度の旋律を 1 曲

別室で 1-2 分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

3. 聴音 (30 分) 旋律聴音 (8 小節程度) …… 各専攻共通 1 題および専攻別 1 題

和音聴音 …… 高音部譜表による三和音、4 小節程度

[問題例] a moll イ短調 $\frac{2}{2}$ 拍子 4 小節



※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

4. 専攻実技

下記の楽器別実技課題から、専攻楽器の課題を演奏すること。

5. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えてください。

専攻実技課題

■ヴァイオリン

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch : Scale system (C. フレッシュ『スケール・システム』)より、任意の長調または短調を選び、第 5、6、7、8 番を演奏する。運指の指定なし。

①第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。 $\text{♩} = 60$ 以上(スラーは下記の C-dur に準ずる)

②第 6、7、8 番は各々冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。 $\text{♩} = 60$ 以上(スラーは 16 分音符 4 個以上とする。1 小節 2 弓でも可。下記の第 6 番参照)

第 5 番 $\text{♩} = 60$ 以上



第 6 番 $\text{♩} = 60$ 以上



(2) 練習曲

P. Rode、J. Dont (Op.35), N. Paganini の練習曲、カプリスより任意の 1 曲、または同程度もしくはそれ以上の難易度の任意の 1 曲

(3) 任意の協奏曲より第 1 楽章(カデンツァを含む)

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

※演奏によりヴァイオリンに適正がありと認め得る受験者は、ヴァイオリンで合格となる場合がある。

※(1)～(3)の順で演奏すること。

■ ヴィオラ

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch : Scale system より、任意の長調または短調を選び、第5、6、7、8 番を演奏する。運指、運弓の指定なし。

①第5番は冒頭から12 小節目までを演奏する。♩=60 以上(スラーとリズムはC-dur に準ずる)

②第6、7、8 番は各々冒頭から4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。♩=60 以上(スラーは16 分音符4 個以上とする)

(2) B. Campagnoli : 41 Caprices (B. カンパニョーリ『41 のカプリース』)から任意の1 曲、または同程度もしくはそれ以上の難易度の任意の1 曲

(3) 次の(イ)～(ニ)より任意の1 曲

(イ) Johann Christian Bach : 協奏曲ハ短調より 第1 楽章

(ロ) C. Stamitz : ヴィオラ協奏曲ニ長調作品1 より 第1 楽章(カデンツァを含む)

(ハ) F. Hoffmeister : ヴィオラ協奏曲ニ長調 より 第1 楽章(カデンツァを含む)

(ニ) 上記の(イ)～(ハ)と同程度もしくはそれ以上の曲から1 曲(版の指定なし)

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

※ヴァイオリンによる受験可。出願書類の志望欄にヴィオラと記入し、ヴァイオリンの課題で受験すること。

※(1)～(3)の順で演奏すること。

■ チェロ

(1) 音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指およびテンポの指定なし。

【音階】



【分散和音】



(2) 練習曲

次の(イ)～(ハ)より任意の1 曲

(イ) D. Popper : Hohe Schule des Violoncellspiels, op. 73 (ポッパー:40 の練習曲)

(ロ) J. L. Dupport : 21 études (デュポール : 21 の練習曲)

(ハ) A. Schroeder : 170 foundation studies for violoncello, 2 (シュレーダー:170 の基礎練習 第2巻)

(3) 任意のチェロ協奏曲より第1楽章または最終楽章

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

※(1)～(3)の順で演奏すること。

■コントラバス

(1) 音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。



(2) 下記のいずれかを選択すること。

(イ) 任意のソナタより第1楽章と第2楽章

(ロ) 任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章

※オーケストラチューニング、暗譜で演奏すること。

※(2)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に準ずる)。

※(1)、(2)の順で演奏すること。

■ハープ

(1) F. J. Naderman : 7 Sonates progressives, Op.92 より任意の第1楽章

(2) 自由曲 (J. L. Dussek のソナタと同程度の難易度の作品) を1曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

※(1)、(2)の順で演奏すること。

■クラシックギター

(1) F. Sor または H. Villa-Lobos の練習曲より任意の1曲

(2) 自由曲 1曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

※(1)、(2)の順で演奏すること。

1. 楽典 (50 分)

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

2. 聴音 (30 分)

旋律聴音 (8 小節程度) …… 各専攻共通 1 題および専攻別 1 題
和音聴音 …………… 高音部譜表による三和音、4 小節程度

[問題例] a moll イ短調 $\frac{2}{2}$ 拍子 4 小節



※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

3. 専攻実技

下記の楽器別実技課題から、専攻楽器の課題を演奏すること。

4. 面接

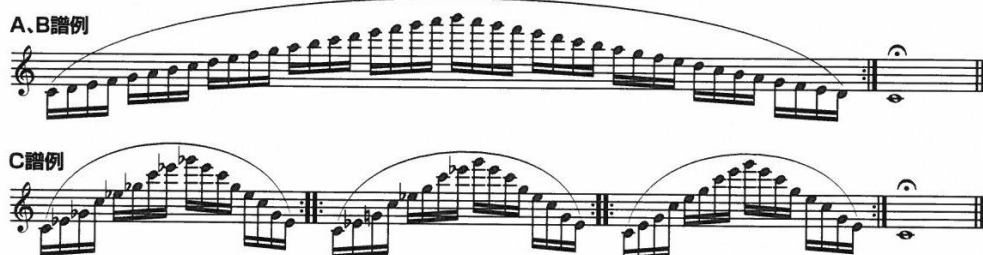
本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に教えてください。

専攻実技課題

■フルート

(1) 音階と分散和音

M. Moyse : Exercices journaliers pour la flûte (M. モイーズ『フルートのための日課練習』)より長音階 (A)、短音階 (B)、分散三和音 (C)を演奏する。演奏箇所は当日指定する。♩ = 60 (譜例参照)



(2) J. Andersen: 24 Studies for flute, Op. 15 (J. アンデルセン『24 のエチュード 作品 15』)より No. 3, No. 18

(3) W.A. Mozart: フルード協奏曲 第 1 番ト長調 K. 313 より第 1 楽章 (カデンツァは含まない)

※いずれも版の指定なし。暗譜の必要なし。

※ (3)の伴奏者は大学が用意する (楽譜の提出不要)。前奏は Solo の4小節前より始める。

■オーボエ

(1) 音階

次の A、B いずれかの音型によって長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。暗譜。



(2) F. W. Ferling : 48 Etudes, Op.31 (F. W. フェルリンク『48 のエチュード』) Nos.5-10 の中から当日指定する。

※(2)は版の指定なし。暗譜の必要なし。

■クラリネット

(1) 音階

R. Eichler : Scales for Clarinet より各調の1番をスラーで演奏すること。調性は当日指定する。暗譜。

(2) E. Cavallini : 30 Capricci(Ricordi)より Nos.16,19,22 の3曲。演奏箇所は当日指定する。

(3) C.M.v ウェーバー : クラリネット小協奏曲 変ホ長調 作品 26 (カデンツァは演奏しない)。

※(3)の伴奏者は大学で用意する(楽譜の提出不要)。前奏は Solo の3小節前より始める。

■ファゴット

(1) 音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。暗譜。



(2) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op.8. Vol.2 の Nos.1-15 より当日2曲を指定する。

(3) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op.8. Vol.2 の Nos.22-43 より任意の1曲

※(2)(3)は暗譜の必要なし。

■サクソフーン

アルト・サクソフーンで受験すること。

(1) 音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階をスラーで演奏すること。調性は全調の中から当日指定する。暗譜。繰り返しなし。

音階譜例



(2) F. W. Ferling : 48 études pour tous les saxophones (F. W. フェルリング『サクソフーンのための48の練習曲』[M. ミュールによる増補改訂版] A. Leduc)より、任意の奇数番号1曲と任意の偶数番号1曲の計2曲を演奏すること。

(3) 自由曲1曲 (編曲作品可。抜粋の場合は、楽章等を専攻別曲目記入票に明記すること)

※(2)(3)は暗譜の必要なし。伴奏なし。

1. 楽典 (50 分)

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

2. 聴音 (30 分) 旋律聴音 (8 小節程度)…… 各専攻共通 1 題および専攻別 1 題 和音聴音 …………… 高音部譜表による三和音、4 小節程度

〔問題例〕 a moll イ短調 $\frac{2}{2}$ 拍子 4 小節



※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

3. 専攻実技

下記の楽器別実技課題から、専攻楽器の課題を演奏すること。

4. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えてください。

専攻実技課題

音階および分散和音

ホルン、トロンボーン、バス・トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム共通課題

次の例にしたがって、長音階と短音階を暗譜で演奏すること。調性、音域は当日指定する。暗譜。繰り返しなし。



■ホルン

(1) 音階および分散和音 (前掲の譜例参照)

調性、音域は当日指定する。

(2) W. A. Mozart : ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K.447 より 第1楽章(カデンツァなし)

※(2)は暗譜の必要なし。伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。前奏は Solo の4小節前より始め、それ以降のカットなし。

■トランペット

(1) Théo Charlier: 36 études transcendantes (Alphonse Leduc 版) より No.2 “Du style”

(2) 以下の4曲より1曲を選択し演奏。

- ① Théo Charlier: Solo de concours (Schott 版)
- ② Camille Saint-Saëns: Fantaisie en mi bémol (Alphonse Leduc 版)
- ③ Roger Boutry: Trompetunia (Alphonse Leduc 版)
- ④ André Chailleux: Morceau de concours (Alphonse Leduc 版)

※暗譜の必要なし。伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。

■トロンボーン

(1) 音階および分散和音 (前掲の譜例参照)

調性、音域は当日指定する。

(2) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone. Book 1. Edited by Alan Raph (C. Fischer) より No.8

(3) G. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (G. コブラッシュ『60のエチュード(トロンボーン)』(全音楽譜)) より No.15、No.40

※繰り返しなし。暗譜の必要なし。

■バス・トロンボーン

- (1) 音階および分散和音（前掲の譜例参照）
調性、音域は当日指定する。
- (2) O. Blume: 36 Studies for Trombone with F Attachment (C. Fischer) よりNos.5、23、25
※暗譜の必要なし

■テューバ

- (1) 音階および分散和音（前掲の譜例参照）
調性、音域は当日指定する。
- (2) 練習曲
以下の中から当日指定する。いずれも途中でカットする場合がある。
G. Kopprasch: 60 Selected Studies(R. King Music) Nos.12, 14, 16, 20, 22
M. Bordogni: 43 bel canto studies(R. King Music) Nos.1, 4, 7, 12, 14
- (3) J. S. Bach: Air and Bourrée (Wm. J. Bell 編曲)
※(2)(3)は暗譜の必要なし。版の指定なし。
※(3)の伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。

■ユーフォニアム

- (1) 音階および分散和音（前掲の譜例参照）
調性、音域は当日指定する。
- (2) J. Rochut: Melodious Etudes for Trombone のNos.3, 4, 5 から当日指定する。
- (3) J. B. Arban: Variations on a Song “Vois-tu la neige qui brille” (The Beautiful Snow)
(「輝く雪」の歌による変奏曲) *Arban's Complete Conservatory Method* 所収
※(2)(3)は暗譜の必要なし。版の指定なし。
※(3)の伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。前奏なし。
[使用楽譜] J. B. アーバン『12の幻想曲とアリア』No.5 (ISR Collection, 全音楽譜)

1. 楽典 (50 分)

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

2. 聴音 (30 分) 旋律聴音 (8 小節程度)…… 各専攻共通 1 題および専攻別 1 題 和音聴音 …………… 高音部譜表による三和音、4 小節程度

[問題例] a moll イ短調 $\frac{2}{2}$ 拍子 4 小節



※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

3. 専攻実技

下記の楽器別実技課題から、専攻楽器の課題を演奏すること。

4. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えてください。

専攻実技課題

ティンパニ、小太鼓、マリンバのいずれかの課題で受験すること(出願書類に楽器を記入すること)。

■ティンパニ

- (1) ロール $pp \text{ — } ff \text{ — } pp$ Es(変ホ)(30 秒以上)
- (2) R. Hochrainer : Etüden für Timpani. Heft 1 (Doblinger) Nos.19, 26, 39, 40, 43, 44 より当日指定する。
- (3) 簡単な初見演奏
- (4) 小太鼓による 2 つ打ち(響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)
- (5) マリンバによる 2 オクターヴの長音階と短音階(調性は当日指定。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する)

■小太鼓

- (1) 2 つ打ち、ロール $pp \text{ — } ff \text{ — } pp$ (30 秒以上)(響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)
- (2) A. J. Cirone : Portraits in Rhythm. Nos.1, 4, 12, 13, 31 より当日指定する。
- (3) 簡単な初見演奏
- (4) マリンバによる 2 オクターヴの長音階と短音階(調性は当日指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する)。

■マリンバ

- (1) 3 オクターヴの長音階、短音階、分散和音(調性は当日指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する)。
- (2) M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred Music) の 39 EtudesXV(15 番)
- (3) 自由曲(伴奏なし)
- (4) 簡単な初見演奏
- (5) 小太鼓による 2 つ打ち(響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)

作曲指揮専攻

作曲「芸術音楽コース」

1. 楽典（50分）

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

2. 楽譜による作品提出

- ・1曲ないし2曲（組曲は1曲とみなす）
- ・編成は自由
- ・それぞれの作品に800字程度の解説をつけること。
- ・作品の長さ（演奏時間）は問わない。
- ・楽譜は、鮮明な自筆（コピー可）、またはコンピュータ浄書とする。
- ・楽譜の表紙および解説の冒頭には曲名、受験番号、氏名を記入すること。製本不要
- ・譜面各ページの右上に氏名を必ず記入すること。また、ページ番号を表記のこと。
- ・提出楽譜の大きさはA3サイズまでとする。
- ・出願書類に同封できない場合は別送可。

3. 和声

- ① 転調および非和声音を含むバス課題（2 時間）
- ② 転調および非和声音を含むソプラノ課題（2 時間）

4. 面接

10 分程度（作曲を志した動機・提出した楽曲の内容について等）

音楽文化教育専攻

1. 口述試問 任意の演奏手段による音楽実技（5分程度）を含む。

○口述試問の質問内容

志望動機、将来の希望などとともに、試験において作成した論文の内容について問う。

○任意の演奏手段による音楽実技について

(1)演奏時間等

声楽 自由曲 1 曲（伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出のこと）

器楽 自由曲 3分以上5分程度（複数曲可。無伴奏）

(2)楽器について

受験者が持ち込めるものに限る。ただし、以下の楽器のみ貸出可。

ピアノ、電子オルガン（ヤマハエレクトーン ELS-02C）、コントラバス、ハープ、チューバ、マリンバ

○鍵盤楽器以外の実技を選択した場合は「基礎ピアノ」を課す。

2-3分程度の自由曲 1 曲。レベル、ジャンルは問わない。

- ・音楽実技（「基礎ピアノ」を含む）は暗譜の必要なし。
- ・自作曲（編曲を含む）を演奏する場合は出願書類と共に楽譜を提出のこと（製本の必要なし）。

2. 英語課題：設問について英語で解答する（事前提出）

答案は①②の両方提出

①10月20日（金）消印有効（赤字で「答案在中」と記入し、入試課宛てに郵送。宛先は最終ページ参照）

②10月20日（金）13:00 までに「入力」した答案データをメール添付で提出

※詳細は、事前課題告知時のメールを参照のこと。

3. 論文課題（90分）

当日出題する課題について 800～1600 字程度で論じる。

1. 面接および口述試問

口述試問では面接での応答に即した内容で吹奏楽に関する専門知識を問う。また、楽典に関する簡単な出題も行い学習状況を確認する。

2. 専攻実技

下記の楽器別実技課題から、専攻楽器の課題を演奏すること。いずれも特殊管による演奏可。

専攻実技課題

吹奏楽アカデミー専攻 木管楽器

■フルート

(1) 音階および分散和音

次の音型によって音階および分散和音を長調と短調それぞれ1つずつ演奏すること。
調性、スラー等は任意。暗譜。

長調



短調



(2) 次のの中から任意の一曲を選び演奏すること。

J.Andersen: 24 Studies. [または Etudes.] Op.21 (J.アンデルセン『24 の練習曲』作品 21)より第 4 番、第 10 番、第 24 番

E.Koehler[または Köhler]: 12 Medium Difficult Exercises. Op.33-2 (E.ケーラー『12 の中級練習曲』作品 33 の 2[または『35 の練習曲』作品 33 の第2巻])より第 5 番、第 10 番、第 12 番

※ 版の指定なし。暗譜の必要なし。

■オーボエ

(1) 音階

次の A、B いずれかの音型によって長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は任意。短音階は和声的または旋律的を任意選択。暗譜。

A例



B例



(2) F. W. Ferling: 48 Etudes, Op.31 (F. W. フェルリング『48 のエチュード』)より

任意の奇数・偶数番号を 1 曲ずつ選択し 2 曲を演奏すること。

※ 版の指定なし。暗譜の必要なし。

■クラリネット

※エス・クラリネット～バス・クラリネットまで、どの特殊管で受験してもよい。

(1) 音階

R. Eichler: Scales for Clarinet (国立音楽大学出版)より各調の1番をスラーで演奏すること。
長調と短調をそれぞれ任意で1つずつ。暗譜。

(2) C. Rose: 32 Etudes (C. ローズ『32のエチュード』)より任意の奇数・偶数番号を1曲ずつ選択し2曲を演奏すること。

※ (2)は版の指定なし。暗譜の必要なし。

■ファゴット

(1) 音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階を演奏すること。調性、スラー等は任意。暗譜。



(2) J. Weissenborn: Fifty Bassoon Studies, Op.8. Vol. 2 の Nos.1-15 より任意の2曲。

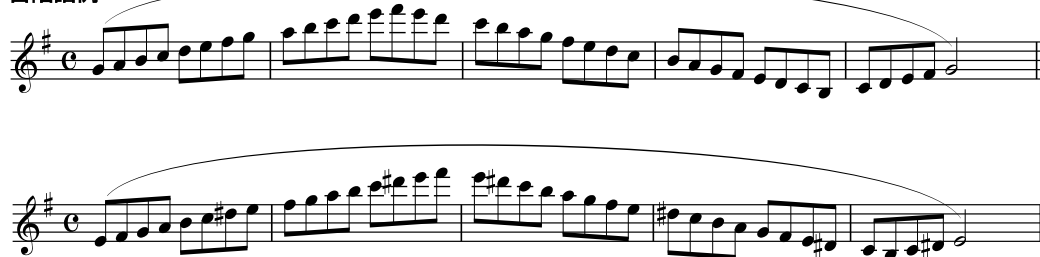
※ 版の指定なし。暗譜の必要なし。

■サクソフォーン

(1) 音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階をスラーで演奏すること。調性は全調の中から任意。暗譜。繰り返しなし。

音階譜例



(2) F. W. Ferling: 48 études pour tous les saxophones (F. W. フェルリンク『サクソフォンのための48の練習曲』[M. ミュールによる増補改訂版] (A. Leduc))より任意の奇数・偶数番号を1曲ずつ選択し2曲を演奏すること。

※ 暗譜の必要なし。

吹奏楽アカデミー専攻 金管楽器

金管楽器共通課題（音階および分散和音）

次の例にしたがって、長音階と短音階（和声的または旋律的）をそれぞれ1つずつ演奏すること。調性、音域は任意。暗譜。



■ホルン

(1) 金管楽器共通課題（音階および分散和音）

(2) G. Kopprasch: Sixty Selected Studies for Horn (G. コプラッシュ『60のエチュード(ホルン)』)より任意の2曲。

※ 版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。

■トランペット

(1) 金管楽器共通課題（音階および分散和音）

(2) G. Kopprasch: Sixty Selected Studies for Trumpet (G. コプラッシュ『60のエチュード(トランペット)』)より任意の2曲。

※ 版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。

■トロンボーン、バス・トロンボーン

- (1) 金管楽器共通課題(音階および分散和音)
- (2) G. Kopprasch: Sixty Selected Studies for Trombone (G. コブラッシュ『60のエチュード(トロンボーン)』)より任意の2曲。
※ 版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。
※ バス・トロンボーンで受験する場合は1オクターヴ下げて演奏してもよい。

■チューバ

- (1) 金管楽器共通課題(音階および分散和音)
- (2) G. Kopprasch: Sixty Selected Studies for Tuba (G. コブラッシュ『60のエチュード(チューバ)』)より任意の2曲。
※ 版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。
※ 使用する楽器の管の種類は問わない。

■ユーフォニアム

- (1) 金管楽器共通課題(音階および分散和音)
- (2) G. Kopprasch: Sixty Selected Studies for Trombone (G. コブラッシュ『60のエチュード(トロンボーン)』)より任意の2曲。
※ 版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。

吹奏楽アカデミー専攻 打楽器

(1) 打楽器共通課題

- ① 鍵盤打楽器による2オクターヴの長音階と短音階。調性は調号3つまでの調から任意。音型は自由。但し、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。
※ 楽器はシロフォン、マリンバ、ヴィブラフォンより選択すること。
- ② 小太鼓による2つ打ち(楽器は各自持参のこと)

(2) 楽器別課題

下記のいずれか1つを選択すること。

■ティンパニ

R. Hochrainer: Etüden für Timpani. Heft 1 (Doblinger) の Nos. 8、9、10のうち、任意の2曲。
※ 暗譜の必要なし。

■小太鼓

W. F. Ludwig: Collection Drum Solos (Ludwig Music) より The Connecticut Halftime
※ 暗譜の必要なし。

■鍵盤打楽器

M. Goldenberg: Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred Music) の 39 Etudes より V、Ⅶのどちらか1曲。
※ (1)①と同一楽器で演奏すること。
※ 暗譜の必要なし。

■コントラバス

(1) 音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。暗譜の必要なし。



(2) F. Simandl: 30 Etudes for the String Bass (C. Fischer)より任意の1曲、または任意の自由曲を1曲。

- ※ 暗譜の必要なし。
- ※ オーケストラチューニング。
- ※ 伴奏なし。

■ハープ

任意の自由曲1曲。

- ※ 暗譜の必要なし。
- ※ 伴奏なし。

ミュージックビジネス・テクノロジー専攻

1. 論文課題(90分)

当日出題する課題について1200～1600字程度で論じる。

2. 面接

志望動機、将来の希望などとともに、試験において作成した論文の内容について問う。

■器楽専攻（ピアノ演奏家コース）への転コースについて

総合型選抜で器楽専攻（ピアノ）に合格し、入学手続きをした者は、2024年2月に行われる転コース試験を受験し合格することにより、ピアノ演奏家コースへ転コースすることができます。

- * 転コース試験の結果が不合格の場合でも、総合型選抜の可否には一切影響ありません。
- * 本学入学後にもピアノ演奏家コースへの転コースの機会があります（例年各学年度末。詳細は入学後に掲示等で確認してください）。

【転コース試験課題】

本要項の「ピアノ演奏家コース」実技試験課題をご覧ください（実技試験のみ）。

【願書請求方法】

転コース試験出願を希望する場合は本学入試課にメールにて願書等を請求してください。メールの件名、本文には以下の通り記載してください。お電話での請求はご遠慮ください。

件 名：転コース試験願書希望

メール本文：①総合型選抜受験時の受験番号

②氏名

③願書データ送信先メールアドレス

送 信 先：nyushi@tokyo-ondai.ac.jp

【検定料】28,000円

■「対面式」受験上の注意

- ①試験当日の集合時間など受験に関する詳細は、試験初日の3日前までにメール等で通知しますので、必ずご確認ください。試験日時・会場に関する電話やメールでのお問合せはご遠慮ください。
- ②試験当日の大まかな流れは原則として以下のとおりです。定められた時刻までに集合場所に集合し、以降は全て係員の指示に従ってください。**集合・受付** → **直前練習** → **試験**
- ③実技試験において集合時刻に遅れた者は受験を許可しません。やむを得ない事情(公的事情)により遅刻をした場合は、直ちに係員に申し出てください。
- ④練習室は貸出しません。
- ⑤試験当日に持参するもの
 - ・受験票(各自で忘れずに印刷してください。受験票を持たない者は入構できません)
 - ・筆記用具 ・昼食(試験が昼食時間におよぶ場合)
- ⑥保護者の入構はできません。
- ⑦服装については、特に指定しません。

■出願書類の記入・提出に関する注意

Web 出願サイトでユーザー登録を行った後、本学ホームページから必要書類を印刷します。(5 ページ参照)印刷した出願書類とそれ以外の必要書類(調査書等)は、すべて揃っていることを確認の上、期限内に郵送にて提出してください。本学の窓口では受け付けません。出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類は返還しません。

出願書類の記入については、以下の注意事項をよく読み、誤りや漏れのないよう記入してください。

- (1) 各出願書類は、黒、青インクまたはボールペンを使用し、文字は楷書で、数字は算用数字で正確に記入してください。書き損じた場合は、二重線を引いて訂正印を押し、空いているところに記入してください(修正液・修正テープは使用しないでください)。
- (2) 該当欄は記入または○で囲んでください。※欄は記入不要です。
- (3) 願書および受験票には Web 出願サイトでアップロードした写真が用いられます。カラー、正面上半身脱帽、縦4:横3の比率で、3ヵ月以内に撮影したものを Web 出願サイトにアップロードしてください。眼鏡等の有無は問いません。
- (4) 曲目記入票について
 - ①演奏する曲目、作曲者、調名、作品番号、楽章等まで該当する欄に詳しく記入してください。
 - ②作品番号は、「Op.30 No.2」のように明確に、漏れのないよう記入してください。
 - ③楽章等の記入は、「第1楽章」「第2楽章」と「第」を入れて記入してください。
 - ④曲目等の記入は、特に指定がなければ、邦語、原語どちらでも構いません。
 - ⑤ピアノ自由曲で一部省略する場合は、その箇所を記入してください。
 - ⑥出願後は、受験曲名、調の変更(訂正)は認めないので、間違いのないように正確に記入してください。
 - ⑦曲目記入票に記入された事項(作曲者、曲目、調名、平均律巻名、楽章等)が試験で演奏したものと異なる場合、原則として失格になりますので注意してください。
- (5) 伴奏譜について
声楽専攻(声楽芸術)、器楽専攻(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)、音楽文化教育専攻(声楽)を志望する志願者は、伴奏譜を出願書類に同封してください。伴奏譜の作成方法等は 23 ページ「伴奏譜の提出について」を参照してください。

※個人情報の取り扱いについて

- ①本学は、志願者の出願書類に記載された個人情報および入学試験の成績を入学試験業務に利用します。なおこれらの個人情報は個人情報保護法に則り万全の体制で管理します。
- ②本学は、上記の個人情報を大学入学者選抜および大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料としても利用します。調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
- ③本学は、願書記載事項のコンピュータ登録業務、受験票、合格証、入学手続書類等の発送の業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合があります。

■入学者選抜試験における不正行為について

受験の際には、すべて試験監督の指示に従ってください。以下に該当する場合、不正行為とみなされます。

- ① 出願の際に本学に提出した書類・資料等に偽造、虚偽の記載、剽窃が見つかった場合
- ② 受験生以外の者が、受験生本人になりすまして試験を受けた場合
また、以下の行為をすると、不正行為とみなされる場合があります。
 - カンニング(カンニングペーパーや参考書、他の受験生の答案を見ること、他の受験生から答えを教わることを)をすること。
 - 使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。
 - 試験開始の合図の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
 - 試験終了の合図の後に筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けること。
 - 試験時間中に、他の受験生に答えを教えるなど、他の受験生を利するような行為をすること。
 - 試験時間中に、他の受験生に迷惑となる行為をすること。
 - 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、タブレット、携帯音楽プレーヤー、ウェアラブル端末(腕時計型等)を身につけたり、作動させたりすること。
 - 非対面式試験において、「同意書」に記載の内容に反する行為をすること。
 - その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

試験実施中に不正行為と思われる行為が認められた場合、試験監督が注意し、試験の中止や退室を指示することがあります。不正行為の疑いに対処した時間があっても、その受験生は、試験時間の延長を求めることはできません。不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできなくなり、当該年度における本学のすべての入学試験の結果を無効とします。また、入学検定料は返還しません。

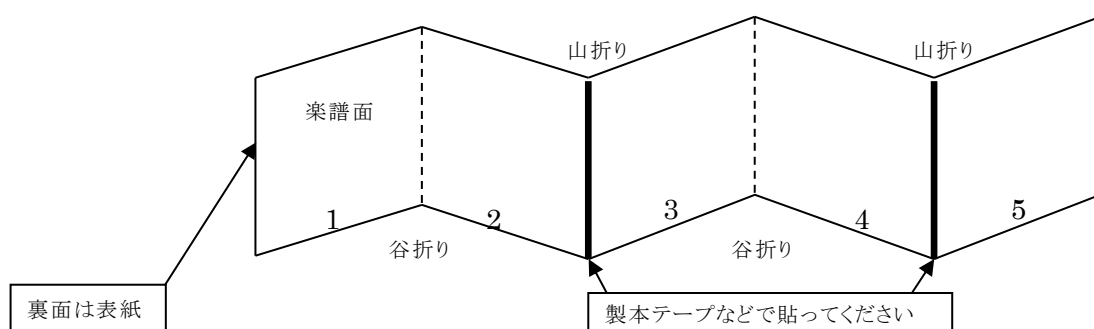
■伴奏譜の提出について

以下の①～④に該当する場合のみ伴奏譜を出願書類と共に提出してください。

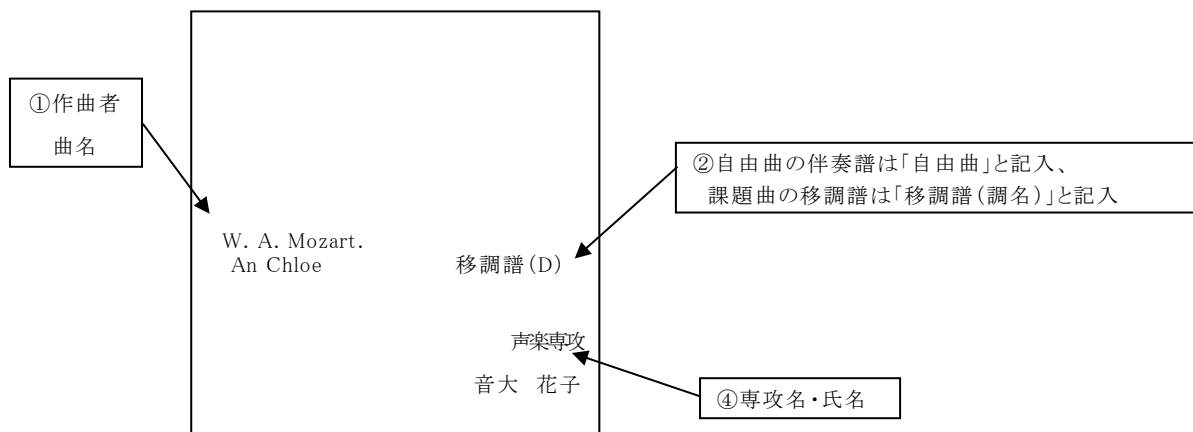
- ①声楽専攻(声楽芸術)の自由曲
- ②声楽専攻(声楽芸術)課題曲で課題曲表のカッコ内に記入してある調以外で受験する場合の移調譜
(課題曲カッコ内の調で受験する場合は、伴奏譜の提出は必要ありません)
- ③器楽専攻(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)の自由曲
- ④音楽文化教育専攻(声楽)の自由曲

○伴奏譜作成手順

- ・楽譜は1ページA4 縦とし、ページ抜けがないようにしてください。
- ・1 曲ごとに表紙をつけ、表紙右下に①作曲者・曲名、②自由曲伴奏譜・移調譜の区別、③専攻・コース名または楽器名、④氏名を記入してください。
- ・2 ページ以上になる場合は、アコーディオン状に折って、製本テープ(無地のマスキングテープ)等で貼ってください。セロファンテープは使用しないでください。
- ・書き込みは不可とします。コピーの濃淡等を調整の上、鮮明な楽譜を提出してください。
- ・手書きの伴奏譜を作成する場合は、定規等を使用し、正しく丁寧に記入してください。また、鉛筆ではなく、黒ボールペン等で清書した譜面を提出してください。



<表紙の書き方>※裏面は楽譜 1 ページ目



■奨学金制度について

本学の奨学金制度については、以下のリンクをご覧ください。
<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/12765.php>



■学生寮（女子）について

自宅からの通学が困難（通学時間3時間以上を目安）な学生（女子）に対し、学生寮が設けられています。

(1) 申込方法

入寮希望者は、合格者に送付する合格証等の書類に同封されている「2024年度東京音楽大学学生寮入寮申込書」に必要事項を記入のうえ、入学手続書類に同封し郵送してください。

(2) 選考

新年度の入寮可能数内で入学試験の成績・調査書類等を総合的に考慮のうえ大学が決定します。申込者多数の場合、入学試験に合格しても入寮許可にならない場合があります。

(3) 発表・手続

- ①入寮を許可する者には、大学から直接通知します（12月下旬予定）。
- ②入寮許可後に辞退する場合は、至急学生支援課へ電話でご連絡ください。
- ③入寮手続の詳細は、大学からの入寮許可通知とともにお送りする入寮手続書類を参照ください。

(4) 施設・設備

- ①所在地 〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷3-22-10（池袋キャンパス敷地内）
- ②収容定員 124名（高校生20名を含む）
- ③建物の構造 地上5階
- ④寮室面積 約8㎡
- ⑤寮室備品 デスク、収納棚、ベッド、エアコン、冷蔵庫 ※Wi-Fi完備
- ⑥付帯設備 ラウンジ、浴室、洗面所、洗濯室、パソコン、コピー機

(5) 入寮費用

入寮金（入寮時のみ）	寮費
80,000 円	78,000 円（月払い・食費込） ※朝・夕 2 食（日・祝含む）

- ①寮費（月額）は、1 年間にかかる総額の 12 等分となります。
- ②上記費用は、物価の高騰等により値上げする場合があります。

(6) その他

- ①お盆および年末年始の指定日は、閉寮となります。
- ②入寮申し込みの際には、必ず入寮案内で詳細を確認してください。
- ③不明な点は、学生支援課（TEL 03-6455-2756）までお問い合わせください。

東京音楽大学

【中目黒・代官山キャンパス】

〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1

【池袋キャンパス】

〒171-8540 東京都豊島区南池袋 3-4-5

ホームページアドレス <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

問い合わせ先:03-6455-2754(入試課直通) 日・祝日除く 9:00～17:00
03-6455-2774(FAX)